

## 普及活動情勢報告（平成29年 1月分）

中央西農業振興センター 高知農業改良普及所

### キュウリの黄化えそ病を撲滅するために ～生産者へのアンケート調査を実施～



アンケート調査をする職員

1月12日、19日にJA高知春野で黄化えそ病対策として、①栽培終了後の蒸し込み処理、②発病株の抜き取り時期、③耕種的防除などについてのアンケート調査と、現在発病している株の抜き取り処理の呼びかけを行いました。生産者97名から回答が得られ、耕種防除（UVカットフィルム、ネットの目合い）の徹底ができていない、発生株の抜き取り処理を早くから止めてしまうなどの問題点が分かりました。

今後、普及所はJA高知春野と情報を共有し、黄化えそ病に向けた取り組みとして、栽培終了時のキルパー灌水の実証ほの設置や有効な天敵利用の普及も継続して、行っていきます。

### 目標以上の販売実績を達成 ～JA高知市「なるクラブ」～



活発に話し合い中

1月23日、JA高知市女性部加工組織「なるクラブ」のチーム会を開催しました。同クラブは、高知県産業振興推進総合支援事業で改修された加工場を活用して、直販所にお弁当やお惣菜を出荷しています。チーム会では、昨年の実績を振り返り、今後の製造計画を話し合いました。平成28年の販売実績は目標の118%と達成することができました。普及所からは、品目別月別の販売額と数量の昨年との比較や、全体に占める品目別の割合など、分析資料を提示し、実績を伸ばせた要因、今後の課題を話し合いました。

これからも、加工場の有効利用のため、分析の視点を変えながらチーム会開催を支援していきます。

### まずは農業を体験してみませんか？ ～アグリスクールにてJA無料職業紹介の説明～



説明をするJA高知市職員

1月19日に高知大学農林海洋科学部において、学生約40名を対象にアグリスクールが開催されました。この会は本来、「働きながら就農を学ぶ」という目的で一般向けですが、今回は将来就農する可能性がある部学生を対象に行われました。主な内容は安芸地区の農業および新規就農者の受け入れ体制の紹介でした。

JA高知市では、農作業の労働力確保のため、無料職業紹介所を開設し「農作業ヘルパー」を募集しています。しかし、慢性的に不足状態のため、普及所とJAでは安定確保できる仕組みづくりを検討しています。今回は、学生のアルバイトなどで労働力確保につながらないかと、この会の前座で、紹介所の概要説明と「まずは農業を体験してみませんか」という投げかけを行いました。

せん定とは何ぞや ～土佐山村ユズ生産組合せん定講習会～



せん定技術の説明を聞き入る生産者

1月19日に高知市土佐山で土佐山村ユズ生産組合主催によるユズのせん定講習会が開催され、生産者23名の参加者がありました。普及所からは、裏年（果実がならない年）のせん定のポイントや樹形等基本的なせん定技術の説明を行いました。その後、3班に分かれて、各班1樹のせん定の実技を行いました。生産者からは、せん定での疑問やマシン油乳剤の散布方法など多くの質問が出され、活発な情報交換が行われました。

今後も、普及所は基本的な栽培技術と表年や裏年の是正、品質向上のための技術支援をしていきます。

早くも水稻の準備始動 ～水稻栽培講習会の開催～



講習会の様子

1月13～20日にかけて、JA高知市の4つの支部とJA高知春野において水稻の栽培講習会が開催され、合計41名の参加がありました。普及所から、昨年の作柄の振り返りと実証ほにおける試験結果、これからの栽培管理について説明しました。また、今年の新たな取り組みである新品種の栽培試験についても情報提供しました。参加者からは、土壌改良材や除草剤の効果や使い方等の質問があり、これから始まる稲作の準備に向けて、熱心に話を聞いていました。

普及所では今後もニーズに対応した米産地の振興を支援していきます。